

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年02月28日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000078"/> 整理番号 <input type="text" value="11484"/> 担当者 <input type="text" value="小森 幹雄"/>
表 題	<input type="text" value="TG1ファージインテグラーゼを用いたクローニング技術"/>
技術分野	<input type="text" value="食品・バイオ"/>
適用製品	<input type="text" value="分子生物学研究用キット"/>
目 的	<input type="text" value="TG1ファージインテグラーゼによる部位特異的組換えシステムを用いた部位特異的組換え方法及び部位特異的組換え用キットを提供する。"/>
技術概要	<p>従来の遺伝子のクローニング方法では実験操作が複雑なことから操作に伴う失敗も多く、また所要時間も多くかかる。また、ラムダファージのインテグラーゼを用いた方法では部位特異的組換え反応により、上記酵素処理を一度に行える利点があるが、インテグラーゼの他に大腸菌宿主の因子を必要とすることや、特異的に認識する部位の長さが長いなどの問題がある。</p> <p>そこで、上記の問題を解決するために、アクチノファージTG1のインテグラーゼによる部位特異的組換え反応を用いた新規の遺伝子クローニング技術を開発した。</p> <p>本発明のクローニング技術により、従来のラムダファージのインテグラーゼを用いた方法と比較して、組換え効率が格段に高く、高効率で簡便なクローニングを行うことが可能となる。</p>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp